

## 平成31年新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族と共に健やかで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から地域における交通安全活動に多大なるご尽力を頂くとともに、当協会の諸活動に深いご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年中の県内交通事故情勢につきましては、人身事故の発生件数、負傷者数は若干増加したものの、死者数は、64人と前年比で3人の減少となり、これもひとえに、交通安全活動に寄与された皆様方のご理解とご協力によるものであり、重ねて感謝申し上げます。

反面、個々の交通事故に目を向けてみますと、依然として、死者数に占める高齢者の割合が過半数を占めていることや、高齢者が加害者となる事故も増加傾向であることに変わりなく、本年においても高齢者を対象とした効果的な交通事故防止対策が重要であると考えております。

このような中、当協会では、高齢者に対して女性部が中心となり各地域の「高齢者宅戸別訪問」による交通安全指導をはじめ、「足元に生命（いのち）の発信運動」として履き物の反射材啓発活動、そして、子供達には、全県下の小学校新入学時における傘の贈呈と併せて横断歩道を渡る場合の交通安全教育、その他、運転適性検査機等を搭載した「ふれあい号」による出前式交通安全教室等、それぞれの年代に応じた各種交通安全教室を推進しているところであります。

本年におきましても、悲惨な交通事故を一件でも減少させるため、高齢者はもとより、すべての県民を対象とした各種交通事故防止対策を積極的に推進し、安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けての活動を継続してまいります。

関係者各位の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新年における皆様方の益々のご活躍並びにご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

平成31年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会  
理事長 町田 錦一郎